

コミュニティバス（みらい号）ルート見直し（案）に対する意見の内容および市の考え方

意見提出期間	平成21年12月25日（金）～平成22年1月25日（月）		
意見提出者数	1人	意見件数	1件

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
1	今回の改正案について	<p>逆回りが創設されることで、往復目的での利用に利便性があると思われま す。また、守谷駅への運行は今後の利 用者動向を探る意味でも非常に有効な 選択と思われま す。</p> <p>ただ、運行本数の少なさは公共移動 手段としては利便性の点で致命的で す。</p> <p>また、事業を営むに当たり、小規模 ではどうしても規模の大きさに比例し にくい固定費用の割合が多くなる傾向 があることから、採算性の改善になか なかつながらない恐れがあります。</p> <p>みらい号をどのような人に利用いた だくかを十分検討し、少ない本数でい かに利用者を増やすか継続したルート 見直しが必要と思いま す。</p> <p>●今後のルート見直しにおける提言 乗降者数の傾向から、みらい号は地 域間移動より目的別移動に使われてい ることがわかります。</p> <p>少ない本数で如何に利用者の目的場 所に運ぶかを考慮し、以下の事項を提 言しま す。</p> <p>その1：地域別集合場所の設置 バス停自体も集合場所の機能を有す ると思いま すが、待合場所もなく本数 も少ないバス停では記憶に残りづら く、バスを使おうという動機にはなり にくいと思われま す。</p> <p>そこで、地域の学校・役所・集会所・ スーパーなどの商業施設に停車場所を 集中させ、地域のバス待合場所を作っ てはいかがでしょうか。利用者は自転 車や自動車などでそこまで移動しても</p>	1	<p>ご指摘の今後の継続的なルー トの見直しにつきましては、今後 の新ルートでの運行状況や当市 の財政状況を見ながら、市民の利 便性の向上を目指すために、継 続的なルートの見直しを行って いきたいと考えておいま す。</p> <p>また、貴重なご提案ありがとう ございま す。</p> <p>ご提案につきましては、継続的 なルートの見直しと併せ、運行形 態につきましても、今後の運行状 況や当市の財政状況を見ながら 検討してきたいと考えておいま す。</p>

らうパークアンドライドの発想を取り入れるのです。

その2：目的場所別シャトル便の創設

多くの地域を回って利用者を集め、複数の主要な目的場所を回ろうとするから運行距離が伸びてしまいます。

そこで、飛行機でいうところの「ハブ空港」の概念を取り入れ、目的場所間専用のシャトル便を運行してはいかがでしょうか。

みらい平駅と谷井田小学校とか、谷和原役場と小絹駅のように人の集まるところをダイレクトに結び、そこから先は乗り換えるなどして移動してもらえば利用率は向上すると思われま

●私案

「みらい平駅における夜間時間帯の臨時便の試験的運行」

バスの起終点であることもありますが、みらい平駅の利用が突出していることを考慮すると、やはり駅には需要があることがわかります。

また、みらい平駅において平日の20時から22時にかけては個人の送迎車がつくば行きの電車から降りる通勤者を待っているのがわかり、その台数は年を経るごとに増えています。

その中にはバスなどがいないから送迎車を使わざるを得ない人もいるかもしれません。上述のアイデアを応用すれば、利用者を取り込めるかもしれません。

平日の夜間に頻度を1時間に3便とし、地域の主要な場所までのシャトル便として料金を下げ、期間限定で利用動向を調査してはいかがでしょうか。